

渥美 圭亮
Keisuke Atsumi



渥美圭亮あり☑

無題：見た人それぞれが決めてくださいというスタイルでし



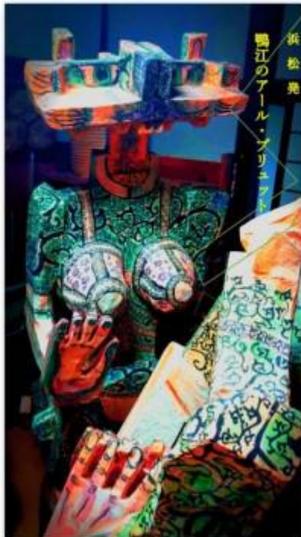
鴨サシアネックスにて保存管理



過去2回の企画展示

公共放送の取材風景





浜松発 鶴江のオール・ブリュット

👉 渥美圭亮の幻視

渥美ゴザ屋三代目 渥美圭亮(1947～2010)
奇異なる造形群を余すところなく展示しています。

※「オール・ブリュット 湧き上がる衝動の芸術」小林瑞恵・大和書房
掲載記念の企画展です。

頭は鳥獣、身体は人間というモチーフを発
砲スチロールなどの廃材を用いてシュール
でコミカルなオブジェを等身大で創作。ほ
か段ボール素材のハンドバッグや、ガラス
と針金の照明器具など。

犬なのか猫なのか、観た人の感性にゆだね
る自由な作風ながら、合掌のポーズや
緻密な唐草文様の描き込みから仏教哲学へ
の造詣も感じられます。

2018 アール・ブリュット・ジャポン展にてフランスで展示された
作品も帰国し、凱旋展示しています。



掲載ページ



渥美ゴザ屋さま
駐車場借りられます
徒歩5分
タイミングが合えば、当館
にて4代目から見た圭亮氏
の創作エピソードなど伺え
ます
<https://atsumi-gozaya.com/>



浜松クラフト 1334+さまより
看板モビール👉をお借りしてい
ます。美術館横のステキ雑貨のお店で
す。

Keep
the
Crafts 1334+

<http://1334plus.sakura.ne.jp/>

別棟会員制サロン **素頓亭**
Tsu-don-Tei

見学 500 円別途
黒塚の床の間は芳年の世界
浜松市美術館で開催中の
「美む浮世絵・蘭芳から芳年へ」

